

= Match Report =

第104回 全国高校サッカー選手権大会 千葉県大会 決勝

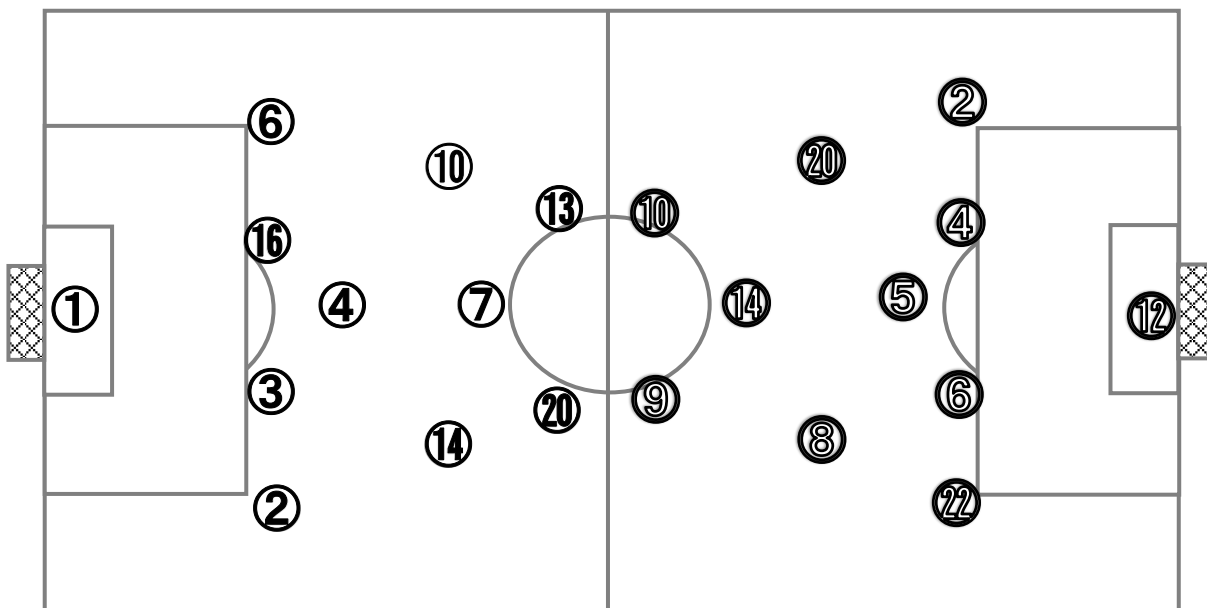
2025年 11月 16日 (日) 13:10 kick off 会場 (フクダ電子アリーナ)

マッチNo. [M39]

流通経済大付属柏 高校 (千葉県) vs 専修大松戸 高校 (千葉県)

2 0 - 0 1
1 1 - 1
1 1 - 0
0 0 - 0
PK

基本システム 1 - 4 - 4 - 2 基本システム 1 - 4 - 4 - 2



【Match Report】

前回大会で全国決勝へ進んだプレミアリーグ所属の流経大柏と、初の全国大会出場を目指す県1部所属の専修大松戸の一戦。両チーム1-4-4-2のミラーゲームで始まり、前半序盤は流経大柏がボールを保持し、ゲームを優位に運ぶ。FW⑬渡辺、FW⑳大藤がアンカーの脇や、前線でボールを収め、個やグループで中盤を支配する。対する専修大松戸も徐々にスピードに慣れ、サイドを使った攻撃でチャンスメイクする。前半18分、FW⑩佐藤のクロスはFW⑨川岸のヘディングシュートは惜しくもクロスバーに阻まれる。直後の19分、流経大柏左サイドDF⑥増田の縦パスを⑬渡辺がスルー、⑳大藤がキープし外から走り込んできたMF⑩安藤に渡す。角度のないコースからシュートを放つもGK⑫山下が素早く詰めブロックする。さらに22分、再び左サイド⑥増田の縦パスから⑩安藤がスルーし⑬渡辺へ、そのまま振り向きざまにニアへの鋭いシュートも⑫山下のビッグセーブでゴールならず。流経大柏の即興性のある攻撃が続くがスコアレスで前半が終了する。

後半開始から流経大柏は、攻撃陣3枚を替え変化を加える。後半14分、交代で投入されたMF⑧昇の中央のドリブルから右サイドMF②乙川へパス、シュートまで繋がり、流れをつかむ。そして後半26分に均衡が破られる。流経大柏DF③廣瀬が左サイドを駆け上がりクロス、⑬渡辺が中央、右足で押し込み先制する。その後も攻勢を強める流経大柏に対し、最後まで諦めない専修大松戸が、試合終了間際に気持ちを見せる。後半38分、コーナーキックのファーの折り返しをMF⑳吉岡がシュート、それが相手DFのハンドを誘いPKを獲得。MF⑭鬼頭が落ち着いて真ん中に流し込み土壇場で同点とし、勝負は延長戦へ突入する。

そして、延長前半3分に決勝ゴールが生まれる。流経大柏MF④島谷のロングスローからの流れで、⑧昇がMF⑨山元にラストパス、最後は右足でファーに流し込み再び勝ち越しに成功する。延長後半も足が止まることなく戦い抜き、2-1で流経大柏が2年連続9回目の全国大会出場の切符を手にした。

試合全体を通して、専修大松戸の身体を張った粘り強い守備や、最後まで切れない集中力などが際立った試合だった。両チームの健闘を讃えるとともに、昨年度のリベンジに燃える流経大柏の全国大会での活躍に期待したい。

記載責任者 所属 (千葉県立関宿高校) 氏名 (谷口 健太)